

ひみつ基地の約束

4年 物語文 10番

名前

公園のおくの、大きな木の下。しげった草にこまれたその場所は、りくとと、けんたの、二人だけの「ひみつ基地」だった。石をならべていすを作り、木のえだに、赤いぬのを、目じるしにおすんだ。「ここは、ぼくらだけのひみつだぞ。」りくとがそう言うのと、けんたも、「ぜったい、だれにも言わない。」と、指切りをした。

ある日のこと。基地でおやつを食べていると、草のむこうから、がさがさと音がした。ふり返ると、同じクラスの、たいちが立っていた。たいちは、少しさびしそうな顔で、「いいなあ……。ぼくも、入れてよ。」と、小さな声で言った。

りくととの心が、きゅっと、ちぢんだ。(でも、あれは、二人だけのひみつの約束だ。)けんたと顔を見合わせる。二人とも、こまったように、だまってしまった。たいちは、その顔を見て、「……ごめん。」と、下を向いた。その、しょんぼりした後ろすがたを見て、りくととの胸は、ちくりといたんだ。「待って、たいち。」気がつくのと、りくとは、そう言っていた。「約束は、二人だけのひみつ、だったよね。」けんたが、こくりとうなずく。「でも……ひみつを守る人が、一人ふえるだけだよ。」りくとの言葉に、けんたの顔が、ぱっと明るくなった。「そうだ。三人で守れば、もっと、じょうぶなひみつになる。」

たいちは、目を丸くして、それから、大きくうなずいた。三人は、あらためて、指切りをした。木もれ日の下で、赤いぬのが、風にゆれている。二人だけの基地は、この日から、三人の、もっと大切な場所に変わったのだった。

School Stock 『ひみつ基地の約束』より

(1) りくととけんたが、はじめに指切りをして交わした約束は、どんな約束でしたか。文しよの言葉を使つて書きましよう。

(2) たいちのさびしそうな後ろすがたを見て、りくとは、どうになりましたか。合うものを一つえらびましよう。

ア うれしくて、わらつた

イ 胸が、ちくりといたんだ

ウ おこつて、大声を出した

エ ねむくなつて、あくびをした

(3) りくとは、たいちを仲間に入れることを、どう考えて、みんなを説とくしましたか。文しよから書きぬきましよう。

(4) 最後に、二人だけの基地は、どんな場所に変わりましたか。合うものを一つえらびましよう。

ア だれも来ない、さびしい場所

イ 先生におこられる場所

ウ 三人の、もっと大切な場所

エ ごみのすてられた場所

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えは
「約束を守りながら、なかまを広げたりくとか、すごいと思つた。」

「こまっている友だちがいたら、わたしも、なかまに入れてあげたい。」

ひみつ基地の約束

解答

4年 物語文 10番

名前

公園のおくの、大きな木の下。しげった草にこまれたその場所は、りくとと、けんたの、二人だけの「ひみつ基地」だった。石をならべていすを作り、木のえだに、赤いぬのを、目じるしにおすんだ。「ここは、ぼくらだけのひみつだぞ。」りくとがそう言う、けんたも、「ぜったい、だれにも言わない。」と、指切りをした。

ある日のこと。基地でおやつを食べていると、草のむこうから、がさがさと音がした。ふり返ると、同じクラスの、たいちが立っていた。たいちは、少しさびしそうな顔で、「いいなあ……。ぼくも、入れてよ。」と、小さな声で言った。

りくとと、心が、きゅつと、ちぢんだ。(でも、あれは、二人だけのひみつの約束だ。)けんたと顔を見合わせる。二人とも、こまったように、だまっていた。たいちは、その顔を見て、「……ごめん。」と、下を向いた。その、しよんぼりした後ろすがたを見て、りくとと、胸は、ちくりといたんだ。「待つて、たいち。」気がつく、りくとは、そう言うていた。「約束は、二人だけのひみつ、だったよね。」けんたが、こくりとうなずく。「でも……ひみつを守る人が、一人ふえるだけだよ。」りくとと、言葉に、けんたの顔が、ぱっと明るくなった。「そうだ。三人で守れば、もっと、じょうぶなひみつになる。」

たいちは、目を丸くして、それから、大きくうなずいた。三人は、あらためて、指切りをした。木もれ日の下で、赤いぬのが、風にゆれている。二人だけの基地は、この日から、三人の、もっと大切な場所に変わったのだった。

School Stock 『ひみつ基地の約束』より

(1) りくととけんたが、はじめに指切りをして交わした約束は、どんな約束でしたか。文しよの言葉を使つて書きましよう。

(例) ここは、二人だけのひみつで、ぜったいに、だれにも言わない、という約束。

(2) たいちのさびしそうな後ろすがたを見て、りくとは、どうになりましたか。合うものを一つえらびましよう。

ア うれしくて、わらつた

イ 胸が、ちくりといたんだ

ウ おこつて、大声を出した

エ ねむくなつて、あくびをした

(3) りくとは、たいちを仲間に入れることを、どう考えて、みんなを説とくしましたか。文しよから書きぬきましよう。

(例) ひみつを守る人が、一人ふえるだけだ(三人で守れば、もっと、じょうぶなひみつになる)。

(4) 最後に、二人だけの基地は、どんな場所に変わりましたか。合うものを一つえらびましよう。

ア だれも来ない、さびしい場所

イ 先生におこられる場所

ウ 三人の、もっと大切な場所

エ ごみのすてられた場所

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

(例) 約束を大切にしながら、こまつている友だちも、なかまに入れたりと、すごいと思つた。わたしも、なかまを広げられる人になりたい。

例えは

「約束を守りながら、なかまを広げたりと、すごいと思つた。」

「こまつている友だちがいたら、わたしも、なかまに入れてあげたい。」

解答・解説 ひみつ基地の約束（4年・物語文）

問1 （例）ここは、二人だけのひみつで、ぜったいに、だれにも言わない、という約束。

一つ目の段落に「ここは、ぼくらだけのひみつ」「だれにも言わない」とあります。

問2 イ

三つ目の段落に「りくとの胸は、ちくりといたんだ」とあります。たいちのしょんぼりした様子を見て、心がいたくなっています。

問3 （例）ひみつを守る人が、一人ふえるだけだ（三人で守れば、もっと、じょうぶなひみつになる）。

四つ目の段落で、りくとは「ひみつを守る人が、一人ふえるだけ」と考え、約束をやぶるのではなく、仲間をふやすことにしました。

問4 ウ

最後の段落に「三人の、もっと大切な場所に変わった」とあります。

問5 （例）約束を大切にしながら、こまっている友だちも、なかまに入れたりくとが、すごいと思った。わたしも、なかまを広げられる人になりたい。

りくとの気持ちや行動と、自分の考えが結びついて書けていれば正かいです。